

SAVE TIBET NETWORK

緊急!!
胡錦濤
5月来日!

チベット人の命を救うために、 あなたの署名を郵送してください。

日本政府、中国政府、国連に 皆さんの署名書を届けます。

2008年3月10日、チベット自治区の首都ラサから始まり、チベット全域に拡大したチベット人に対する中国の武力弾圧に対し、数多くの日本の市民が遺憾の意を表明しています。

2008年3月22日、東京六本木に、チベット人に対する武力弾圧、虐殺、拘束という人権を無視した非人道的行為を即刻停止させることを目的に、1500名の有志が集い、中国政府に対する抗議デモが実施されました。

チベット支援界の重鎮、牧野聖修氏はこの日、日本全国から集まった参加者に呼びかけました。「今日ここに集結した人々は、未来、“平和の使徒”として讃えられる日が来るでしょう。チベットが解放されるまで時間がかかるかもしれない。だからこそ、チベットが自由になる日まで、ここに集まった皆さんの良心と平和への熱い思いをネットワークで結びたい！」この呼びかけによって立ち上がったのが、「SAVE TIBET NETWORK (セーブ・チベット・ネットワーク)」です。

チベット人の命を救いたいと懇願する人。チベット人の人権保護を切望する人。あらゆる武力に反対する人。人が殺されていくのを傍観できない人。世界の平和を願う人。愛の力が世界を変えると信じる人。皆の思いは同じです。「SAVE TIBET NETWORK (セーブ・チベット・ネットワーク)」は、個人の「思い」と「力」を一つに結集し、5月の胡錦濤国家主席来日、7月の洞爺湖サミット、そして8月の北京五輪に向けて、活動を展開します。50年間にも及ぶチベットへの弾圧を止めさせるため、「チベット問題を考える議員連盟」「チベット・サポート・ネットワーク・ジャパン (TSNJ)」「在日チベット人」「人権問題に取り組む在日外国人」、さらに世界各国のチベット支援グループと連携し、アクションを提案・実行していきます。

STEP 1

内容を確認の上、署名する。

- ◆日本政府への請願書
- ◆中国政府への抗議要請書
- ◆国連への請願書

STEP 2

署名入り文書を、下記の宛先に郵送してください。

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-7-1
国会内郵便局 局留
SAVE TIBET NETWORK 宛

締切：2008年4月30日(水)

*当日消印有効

STEP 3

中国胡錦濤国家主席の訪日にあわせ、代表者が日本政府、中国大使館に、署名用紙を直接持参し、日本国民の声を各政府に伝えます。国連宛は、外務省へ手渡します。

SAVE TIBET TAKE ACTION NOW!

【セーブ・チベット・ネットワークとは?】チベットの現状を憂慮し、アクションを起こしたいと思っている一人一人の思いをつなぐ場です、具体的なアクション案を提案・実行します。賛同する個人は、自由に参加してください。「SAVE TIBET NETWORK (セーブ・チベット・ネットワーク)」はいかなる団体にも属しません。在日チベット人、チベット・サポート・ネットワーク・ジャパン (TSNJ) を始めとする国内外のチベット支援団体と連携を取りながら、個人サポーターのネットワークとしての機能を果たします。

詳細はウェブサイトへ
<http://save-tibet.net>